

釜ヶ崎講座 ニュース	No. 7 0 号
	発行日 2 0 2 4 / 7 / 3 0
	〒557-0004 大阪市西成区萩之茶屋 2-9-12-202 〒557-0004 大阪市西成区萩之茶屋 1-9-7 釜ヶ崎日雇労働組合気付 事務局電話 090-3823-9794 郵便振替 00940-1-132778 メール kamakouza@cwo2.bai.ne.jp
ホームページ http://cwoweb2.bai.ne.jp/kamakouza	

☆第53回釜ヶ崎夏祭りがはじまります！

釜ヶ崎講座は例年通り8月15日（木曜日）に

「釜ヶ崎歩きツアー」を開催します！☆

講座会員・読者のみなさん。日頃のご支援・ご協力、また貴重なカンパをいただき、この紙面をお借りして、厚く御礼申し上げます。いつもありがとうございます。

さて釜ヶ崎講座は来る8月12日（夏祭り前夜祭）～15日の釜ヶ崎夏祭りの、さ中、恒例の水野阿修羅さん案内による「8・15釜ヶ崎歩きツアー」を開催させていただきます。
みなさんのふるっての参加をお待ちしております。

◎当日は猛暑が予想されます。みなさん、万全な熱中症対策をお願いします。

○開催日時： 2024年8月15日（木）

午後12時30分から受付。1時に出発。

○受付・集合場所： 釜ヶ崎日雇労働組合事務所

○案内人： 水野阿修羅さん

○参加費： 500円（資料代込み）

事前予約不要

○主催 釜ヶ崎講座 （事務局 090-3823-9794）

☆～第53回夏祭りについて～

みなさん、第53回釜ヶ崎夏祭りは前記の日程で、三角公園をメインステージとして実行委員会に結集する各団体、個人の協働で行われます。現在実行委員会で詳細話し合っています。

期間中はライブステージ、地域課題の宣伝、生活・健康ワンストップ相談、そして恒例の盆踊り大会、種々のイベントが実行委の企画で予定されています。

15日の最終日の夕には「慰霊祭」があり、釜ヶ崎で生きて頑張り、亡くなった仲間の方の魂を追悼しながら、新たな闘いへの出発を誓いあいます。みなさんの夏祭りへの参加、宜しくお願いします。

なお夏祭りスケジュールが決まりますと、釜ヶ崎講座ホームページへの掲載を予定しております。

☆ここからは昨年12月28日より開催されました第54回釜ヶ崎越冬のたたかいから最近までの釜ヶ崎での取り組みを掲載させていただきます。

①☆第54回釜ヶ崎越冬闘争たたかわれる！

期間中、講座は連帯行動とツアーをおこなう☆

第54回釜ヶ崎越冬闘争は去る2023年12月28日の越冬闘争突入集会から本年1月4日朝の野営闘争本部撤収まで三角公園を拠点として闘いぬかれました。

闘争本部は仲間に向けて、年越しの野宿生活は命を削ることと訴えながら、釜地域内の「臨泊」利用を今回も呼びかけました。

「臨泊」とは大阪市が唯一実施する「越年対策」のことで、3度の食事と寝床を行政が用意したものです。

かつては「南港臨泊」とよばれ、遠隔の大阪・南港に出向いて過ごしたという隔離的対策であり、当事者と支援団体の声と行動で近年、行政もようやく耳をかたむけ動いたというものでした。声を上げることなく黙っていれば、決して相手は態度を変えることはなく、少なからぬ犠牲や損失を生み出す、というのが釜ヶ崎の実際の教訓です。

越冬期間中は連日の「人民パトロール」「医療パトロール」行動で、「日刊えっとう」、カイロ、弁当などを手に、野宿をしいられている仲間に声かけ、激励をし、困窮相談や「臨泊」の利用を、また越冬期間中のイベント参加も呼びかけました。

また市民には貧困と野宿への啓もうとその廃絶への取り組みの重要性を毎年訴えています。

12月31日は釜ヶ崎講座もナンバ・戎橋への人パトに出向き行動しました。

翌2024年1月3日には水野阿修羅さんの案内で「新春釜ヶ崎歩きツアー」を行い、15名の参加で釜地域と隣接を歩きました。参加されたみなさん、ご苦労様でした。水野さん、有難うございました。

②☆1月21日「住まいとくらし SOS おおさか」が三角公園で 第11回食料配布＆相談会を開催☆

去る2023年1月21日の日曜日、「住まいとくらしおおさか実行委員会」が「第11回食料配布＆相談会」を開催しました。

当日、食料配布は三角公園、相談フロアは隣接する大阪ホームレス支援センターにそれぞれ場所を設定しながら対応しました。

前日の準備を含め、延べ70名以上の実行委員会スタッフが参加対応し、当日は501人分の食料を配布、就労や医療等、相談ブースには24名の来場がありました。

また3月2日には「第2回ポンポコカフェ」が、昨秋の第1回目と同じ会場「西成区社会福祉協議会 西成区合同庁舎8階」で約30名のスタッフの対応で開催されました。66所帯、121名の参加があり、子育て世帯と女性に向けての食料配布、生活・子育てや歯科相談、子供服・絵本の譲渡、ひと息つける無料カフェ、遊び場スペースの設定等で当日は多くの来場者を迎えました。

このように「住まいとくらしおおさか実行委員会」はコロナ禍に見舞われた2019年を活動の節目としながら、一方では若者や女性にも支援のアプローチを広げつつ、今後も法人化を視野に継続的な活動体制の構築を目指しています。釜ヶ崎講座も実行委に参加しながら協働を図ります。

③ ☆第55回釜ヶ崎メーデーがたたかわれる！

パレスチナ民衆との連帯をかけた

全世界の虐げられた人々との団結を訴える！☆

釜ヶ崎メーデーの伝統を継承し特掃の拡充と

新センター北側の役割の充実求め、要望書の行動も展開

5月1日、釜ヶ崎萩小の森公園で第55回釜ヶ崎メーデー集会が開かれ、約80名が集まり、集会後は地域内デモを貫徹しました。

前日の「メーデー前夜祭」にも旧「禁酒の館」に約30名の仲間が集まり、釜ヶ崎メーデーの歴史や課題を共有しました。

メーデー当日、集会情宣では昨秋、長年の植民地支配の暴力に耐えかねたパレスチナ民衆の決起以降の占領者イスラエルによる「パレスチナ人浄化」虐殺行為が糾弾され、パレスチナ・沖縄・韓国の闘いを結びつつ、全世界の虐げられた民衆とともにメーデーを闘うことが訴えられました。

また70年代、暴力支配と無権利のなかで釜ヶ崎労働者は立ち上がり、同じ（正規）労働者からも差別されつつも、自身の闘いの力で状況を変えていったこと、そしてその決起の場が釜ヶ崎メーデーであり、闘いの伝統として55回という歴史をむかえていることがあらためて確認されました。

集会後は要望書を携えて、「バス勝利号」にて40名の仲間が府・市へ出向きました。特掃の月13日の拡大、7500円の賃上げを引き続き求めていくこと、これら働く権利と野宿せずとも生きていける、本人の思いや暮らし方への意向が十分尊重される諸施策の実行を求めることを訴えました。

釜ヶ崎では以降、センター関連を主要課題とした要望に具体的な回答を求める話し合いや報告集会を持つ中、行政が責任を回避せず、対応に動くことを求めて、7月末にも市への行動の展開が予定されているところです。

④☆居住外国人課題で「釜ヶ崎講座第20回学習会」を4・5月 2回に分けて開催する☆

去る4月13日、5月18日に「釜ヶ崎の中から外国人居住者のことを知る」のテーマで釜ヶ崎講座が第20回目の学習会を持ちました。

ご存じのように近年国内における「絶対的労働力不足」の波の中、近年では釜ヶ崎地域内にもベトナムやインドネシア、あるいはスリランカやネパール等、アジア地域を主とした人々が暮らしの中で、活躍する姿を当然のごとく見かけることが増えました。

釜ヶ崎講座は昨年5月19日、水内俊雄先生のレクチャーで「20年国勢調査資料」等をベースに、同先生らが編纂した「西成区&あいりん地域の最新人口動態分析」（萩之茶屋地域周辺まちづくり合同会社発行―萩まちだより―掲載）をテキストに学習会を開催、西成人口を押し上げる外国人居住実態に大きな衝撃と興味を持たされたのでした。

以降1年がたち、私共、釜ヶ崎講座の無知にNPO・CHARM（チャーム）の青木理恵子先生が外国人基本問題での基礎学習を引き受けていただき、4月13日に「入管・難民問題」を中心にレクチャーをしてもらいました。その成果をもとにする形で5月18日に本学習会（ベトナム人医師・ファム・グエン・クイー先生による外国人居住者の健康問題での講演学習）にいたったのです。

基礎学習会での青木先生は元技能実習生のAさんとともに、本国での就労準備―日本渡航―労働―居住の中での雇い主による長時間労働や日本語教育に代表されるコミュニケーション対応の放棄等、実態を説明、「債務奴隷」と断言してもいい日本の外国人対応をお話されました。

難民問題では認定率2%台という「人権後進国」の実態を述べ、永住権はく奪条項を明記する改正入管法の反動性を指摘しました。

最後に今後の万人が願う社会は助け合いの共生社会であり、軍備拡張どころの様を許されないところまでこの国は共生課題において世界から遊離していると結びました。

続いての5月18日の本学習会、京都民医連中央病院からわざわざお越しいただいたファム・グエン・クイー先生には「在日外国人の抱える医療問題と相談支援活動について」のテーマで講演いただき、実際の診療経験と相談会等を通じての在日外国人（主としてベトナム）における健康実態を語っていただきました。

クイー先生が発言された趣旨を要約すると、

- ① 近年ではベトナムの人の移住が顕著で50万人を超えている。日常忙しさもあり、健康が悪化しても受診に消極的。それは言語・情報・低所得・文化の違いから壁が立ちばかり、言葉・会話がスムーズに通じないのが決定的だ。医療通訳サービス・やさしい日本語教育の普及が必須だ。
- ② ベトナム人を中心とするコミュニティの場で健康相談や情報の普及を意識しているが医療情報を知らされていない外国人の多さを感じている。地域支援団体・個人の連携拡大を痛感している。
- というものでした。

この本学習会には60名の市民、医療・薬事や福祉・法曹分野等多彩な人々のご参加を得て、居住外国人をめぐる支援に関する質疑は多岐にわたりました。

しかし今年1月元旦にあった能登半島地震被災後の釜ヶ崎に所在する「日越支援会」の迅速な被災地支援行動にみるまでもなく、連帯と支援の1つ1つの行動が今後の解決の推進力になるのでは、というキーワードを得た形で今回の釜ヶ崎講座学習会はお開きとなりました。

ご参加の皆さん、ご苦労様でした。学習会全体を終始プロデュースいただいたクイー先生、青木先生、有難うございました。

⑤釜ヶ崎講座が「仕事づくり・街づくりツアー」で

普段の日に稼働する釜ヶ崎をまわる

～「山王大人センター」、「よりどこキッチン」、「清掃講座」の

各現場をまわり、各世代のニーズに応答した就労と共生の場を知る～

～B型支援作業所「ほんでな～」では釜ヶ崎での福祉課題に聞き入る～

去る7月19日に釜ヶ崎講座は普通の日には釜ヶ崎を見るツアーとうたって「仕事づくり・街づくりツアー（第2弾）」を開催。（第1回目は2022年5月25日）この猛暑にもかかわらず、6名の方が参加してくれました。上記4現場を見学して、仕事を大事にしつつも、個々のそこへ集う人のありのままのニーズに見合う意欲をどう引き出すか、そしてそれがどんな仕事の予行演習につながっていくのか、そんな肩ひじ張らない仕事づくりがあることを知りました。

前半、「山王大人センター」「ヨリドコキッチン」「清掃講座」の3か所をまわり、案内人として解説してくれたのは、「NPO 釜ヶ崎支援機構」事務局長の小林大悟さん。

この日、B型支援作業所の「山王大人センター」では、共同の建屋に通う「山王こどもセンター」の児童とともに、一緒に体操して、リラックス。そうした雰囲気の中、通所して来る仲間は包装仕事等、日々、集め持ち寄った仕事に励んで、スキルを上げているとのことでした。

小林さんの先導で、萩之茶屋北住宅2号館1階にある飲食店「ヨリドコキッチン」へ。

支援機構の岡崎由利さんが飲食店としての役割とともに、この店が種々の理由で働くことに不安のある人をリカバーしていく役割があることを説明してくれました。30分でも、見学からでもオーケーで、とにかくステップを踏むことで仕事へとつなげる確固とした理念を述べてくれました。

次は釜ヶ崎支援機構南事務所の2回でワーカーズコープ・センター事業団大阪中央事務所の内村恵さんが清掃講座の役割・意義について約20分のお話を頂きました。

内村さんは釜ヶ崎の就労をめぐる特色として労働者の高齢化と行き場のない若者の増加を指摘され、それらが生活の孤立化を生みだしている、その「地域の困りごと」を働きたいという人間の欲求に結び付けたいとの思いが、「いきいき清掃講座」という事業に結び付いたことを語りました。

こうして講座の受講修了者の積み重ねの中で本人の就労意欲の拡大が地域の公園や集会所の清掃だけではなく、ビル清掃等にも波及、清掃のエキスパートを生んでいることが述べられました。

最後にB型支援作業所「ほんでな〜」に到着。午後3時過ぎからこの日のツアー、もう1人の案内人、穴沢一良さん（NPO バリアフリーサービスつばさ代表理事）が釜ヶ崎の福祉課題のテーマで資料をもとに約30分説明を頂きました。

穴沢さんは「NPO バリアフリーサービスつばさ」での長年の対応の体験を語りながら、釜ヶ崎を最終的に頼る方々の多さに比例した形での「社会資源」の多様さをあげました。

多岐にわたる課題はあるが、センター建て替えに見合う福祉対応窓口（ワンストップ相談等）の実効力を是非とも実現させていくことが、今地域全体で必要なことだと思っていると説明されました。

この日の参加者のみなさん、暑い中ご苦労様でした。案内人の小林大悟さん、穴沢一良さん、そして現場で説明にご尽力いただいた内村さん、岡崎さん、山王センターのみなさま、ありがとうございました。（この項おわり）

【訃報】少し時が経ちましたが、残念なお知らせです。釜ヶ崎講座事務局員の堀尾隆志さんが今年

3月逝去しました。事務局スタッフとして会員、読者の皆さんへのお礼の返信や講座行事の割り振りなどで几帳面な対応を続けました。約束を大事にする誠実な人でした。ここに謹んで報告いたします。

◆事務局から◆

会員、読者の皆さん。日頃は釜ヶ崎講座にご支援、ご協力を頂き、御礼申し上げます。

釜ヶ崎講座は皆さんのカンパで運営させていただいております。振込用紙を同封しておりますので、宜しく願いいたします。